

福島第一原子力発電所の状況

2015年9月4日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.6 m ³ /h	27.9	1.1 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	33.8	5.59 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.01 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	32.5	0.26 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレ系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.05 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (9/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.5
2号機	循環冷却システム	運転中	28.4
3号機	循環冷却システム	運転中	25.7
4号機	循環冷却システム	運転中	24.6

各号機 SFP および原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/3 15:48 ~ 9/4 7:58 移送実施
3号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/3 15:48 ~ 9/4 7:58 移送実施

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (9/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	稼働中 ^{*1}	稼働中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

・2015/9/2 4:55 頃 福島第一原子力発電所H2北エリアのタンクにおいて、協力企業作業員がタンクの梯子を昇る際に、負傷。フルハーネスタイプとD環付きベルトの安全帯を装着していたため落下は免れたが、梯子に引っかかった状態で当該作業員が助けを呼び、共同作業者に発見された。5:14 に入退域管理棟救急医療室へ入室し、医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断したことから、5:56 に救急車を要請。なお、当該作業員の身体に放射性物質の付着はない。その後、いわき市立総合磐城共立病院にて9/2より検査入院をしていたが、特記すべき外傷がなく、9/3、退院するとともに今後の通院治療は不要と診断された。

- ・2015/9/4～ 2号機原子炉格納容内部調査に向けて、格納容器内外の貫通口(X-6ペネ)周辺調査を実施。
- ・2015/9/4 3号機使用済燃料プールにおける燃料交換機の操作卓等の落下について、9/4に採取した使用済燃料プール水の放射能分析結果は、セシウム134は $2.6 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ 、セシウム137は $1.1 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$ 、コバルト60は検出限界値未満(検出限界値: $1.1 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$)であり、前回と比較して有意な変動はなく、燃料破損の兆候は確認されていない。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

- [2号機]・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 $4,500\text{m}^3$ の除去完了。7/10 充填完了。
- [3号機]・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 $5,500\text{m}^3$ の除去完了。8/27 充填完了。
- [4号機]・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

[1～3号機放水路の状況]

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・今回の分析結果において、1号機放水路立坑水上流側の Cs-137 濃度、全放射能濃度およびトリチウム濃度が過去の変動範囲を超えていることを確認。なお、1号機放水路立坑水下流側及び港湾内海水については、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

- <地下水観測孔サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。